



(写真提供：総務省消防庁)

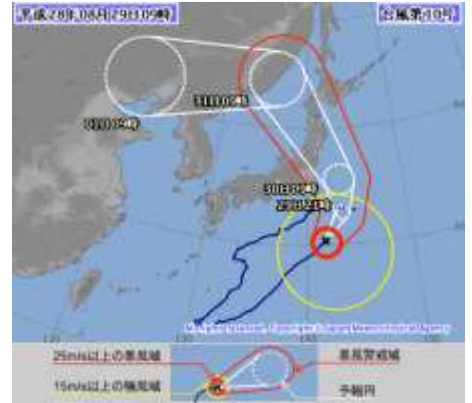
## 気象災害から身を守るために

全国各地では、毎年のように台風や集中豪雨による洪水や崖崩れが発生し、都市部でも集中豪雨などにより、住宅街や道路などが冠水する被害が生じています。また、発達した積乱雲によって竜巻、大雨、雷が発生し、様々な被害を及ぼしています。

また、冬には、大雪や吹雪により交通機関が麻ひするなど、一年を通じて、気象の変化が私たちの生活に大きな影響を与えています。

風水害や雪害から身を守るために、災害の特徴を知り、どのような備えが必要か考えておきましょう。

台風情報 (実況と3日先までの予報)  
(写真提供：気象庁)



## 北海道の災害

北海道は、これまでも台風や竜巻などによる大きな被害を受けています。夏から秋にかけては、前線や台風の影響により大雨が降り、洪水や崖崩れなどの災害が発生しています。また、冬の北海道では、大雪や暴風雪などにより、交通機関が麻ひしたり、なだれ、凍死、一酸化炭素中毒などの被害が発生しています。

平成 28 (2016) 年 8 月 死者 2 名  
台風第 10 号 行方不明者 2 名  
大雨による被害

台風の影響により十勝地方を中心に大雨が降りました。河川の氾濫により、自動車か流されて死者、行方不明者が出たほか、家屋の浸水被害が発生しました。



(写真提供：北海道開発局)

平成 18 (2006) 年 11 月 死者 9 名  
竜巻 突風による被害

オホーツク管内佐呂間町付近で竜巻により、長さ 1 km、幅 200m の範囲にあった建物が倒壊し、死傷者が出るなどの被害が発生しました。



(写真提供：気象庁)

平成 25 (2013) 年 3 月 死者 9 名  
暴風雪 暴風雪による被害

オホーツク海側を中心に記録的な暴風雪で車が動かなくなるなどし、凍死や一酸化炭素中毒で 9 人が亡くなりました。



(写真提供：北海道開発局)

## 豆知識 積乱雲に注意！

雲は、空気が上昇気流によって上空に押し上げられて発生します。大気の状態が不安定になると、強い上昇気流により雲が成長を続けて積乱雲になります。

発達した積乱雲は、短い時間で強い雨を降らせるほか、竜巻などの激しい突風、雷、ひょうなど、狭い範囲に激しい気象現象をもたらすことがあるので、空の様子や最新の気象情報に注意しましょう。

### 雷が聞こえたらすぐ避難！

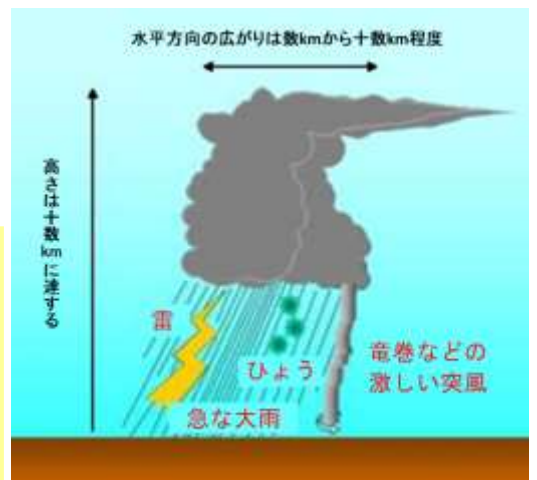
建物の中や屋根付きの乗り物(自動車など)へ避難しましょう。

**カミナリ  
危険！**

雨宿りで木の下に入るのは危険です。

木や電柱からは 4m 以上はなれましょう。

避難する場所がないときは姿勢を低くしましょう。



(資料提供：気象庁)

## 台風情報に強くなろう！

台風は、強風や大雨により大きな被害をもたらします。多くの台風は温帯低気圧になりながら弱まっていきますが、温帯低気圧に変わりながら再び発達する低気圧もあります。台風に関する情報では、次のような気象用語を用いて警戒を呼びかけています。気象情報を活用し、台風から身を守りましょう。

〈大きさ〉

階級	平均風速 15m/秒以上の半径
大型（大きい）	500km 以上～800km 未満
超大型（非常に大きい）	800km 以上

〈強さ〉

階級	最大風速 (m/秒)
強い	33 以上～44 未満
非常に強い	44 以上～54 未満
猛烈な	54 以上

台風の規模を大きさと強さで「大型で強い台風」などと呼んでいます。気象庁は台風の勢力を左の表のように「大きさ」と「強さ」で表現しています。

## 風と雨の強さ

〈風の強さと吹き方〉

風に向かって歩かなくなる。傘がささない。

10 やや強い風

平均風速  
m/秒

15 時速 ～約 50km/h



風に向かって歩けない。転倒する人も出る。

15 強い風

平均風速  
m/秒

20 時速 ～約 70km/h



向かいつかまっていけないと立ってられない。

20 非常に強い風

平均風速  
m/秒

30 時速 ～約 110km/h



丘外での行動は極めて危険。

30 猛烈な風

平均風速  
m/秒

時速 約 125km/h～



〈雨の強さと降り方〉

地面からの跳ね返りで足元がぬれる。

10 やや強い雨

1時間雨量  
mm

20



傘をさしてもぬれる。

20 強い雨

1時間雨量  
mm

30



道筋が川のようになる。

30 激しい雨

1時間雨量  
mm

50



傘は全く役に立たなくなる。

50 非常に激しい雨

1時間雨量  
mm

80 猛烈な雨



(気象庁の資料を基に作成)

## 風水害・雪害に備えよう

1 気象情報の入手先を確認しておきましょう。

最新の気象情報は、何から入手できるかな？



2 避難勧告や避難指示（緊急）が発令されたらすぐに避難しましょう。

自宅や学校の近くの避難場所はどこかな？



3 危険な場所には絶対に近づかないようにしましょう。

河川の氾濫や崖崩れのおそれがあるところなど、地域で危険な場所はどこかな？



発行：平成30年(2018年)7月  
 発行：北海道教育委員会  
 問合せ：北海道教育庁学校教育局生徒指導・学校安全課  
 電話 011-231-4111 (内線 35-670)

シリーズ「学んDE防災」(中学生用)  
 地震編、津波編は、次の URL (ウェブ) に掲載しています。  
<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ssa/>

〈協力機関〉

- 北海道教育大学札幌校
- 札幌管区気象台
- (一財)日本気象協会北海道支部
- 北翔大学
- 北海道PTA連合会
- 北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター
- 北海道開発局
- 北海道総務部危機対策局危機対策課
- 道都大学
- 北海道高等学校PTA連合会

